

A小学校 P段階の取組に関する資料

1 「第1学年算数科」の別葉（指導計画）

算数科における重点単元の抽出

〇〇小学校 本年度の重点目標（資質・能力）								
・根拠を明らかにしながら筋道を立てて説明することができる子どもの育成								
算数科 第1学年 の重点目標								
・自分の考えを順序よく話すことができる力の育成								
【第1学年の重点単元】								
1学期の重点単元	2・3学期の重点単元							
たしざん(1)	ひきざん(2)							
重点単元として抽出した理由（重点目標の達成にどうつながるか）								
・繰り上がりのないたし算について、数図ブロックを操作して計算の仕方を言葉でまとめ唱えることで、重点目標と関連させやすい。	・繰り下がりのあるひき算について、数図ブロックを操作して計算の仕方を言葉でまとめ唱えることで、重点目標と関連させやすい。							
指導方法（重点目標達成のために、その学年で位置付ける学習活動や手立て）								
・具体操作物となる数図ブロックと数図カードを用意し、それを使って計算の仕方を唱えながら考えさせることで、自分の考えを明確にもつことができるようにする。	・説明の言葉や式の補助数を書き込めるワークシートを用意し、それを使って計算の仕方を唱えながら考えさせることで、自分の考えを明確にもつことができるようにする。							
共通した指導方法								
<p>・「学習のきまり」を共通理解し取り組む。 ○「学習のめあて」を必ず板書し、めあてに対応した「学習のまとめ」と「振り返り」の時間を必ずもつ。 ○問題把握のために、問題文にアンダーラインを引く。 ○ノートの基本的な使い方。 ○ノートの活用の仕方（「学びの足跡」）。</p>								
ノートの基本的な使い方	交流活動の型							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">月/日 ○ページ 単元名 （交流内容）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">めあて（赤で囲む）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（見通し）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自分の考え</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">まとめ（青で囲む）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">振り返り</td> </tr> </table>	月/日 ○ページ 単元名 （交流内容）	めあて（赤で囲む）	（見通し）	自分の考え	まとめ（青で囲む）	振り返り	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自力解決(個)→協働解決(全体) ・自力解決(個)→協働解決(少人数・全体) ・自力解決(個)→協働解決(全体・少人数・全体) </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決(個)→協働解決(全体) ・自力解決(個)→協働解決(少人数・全体) ・自力解決(個)→協働解決(全体・少人数・全体)
月/日 ○ページ 単元名 （交流内容）								
めあて（赤で囲む）								
（見通し）								
自分の考え								
まとめ（青で囲む）								
振り返り								
<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決(個)→協働解決(全体) ・自力解決(個)→協働解決(少人数・全体) ・自力解決(個)→協働解決(全体・少人数・全体) 								